

中津市歴史博物館収蔵品展

「ナガシノノキオクー中津藩士のルーツは長篠にありー」

担当：歴史博物館 三谷（電話 0979-23-8615）

中津藩士のルーツが長篠にあることをご存知でしょうか。天正3(1575)年5月、武田勝頼軍と織田信長・徳川家康^{したらがはら}連合軍が、長篠設楽原で対峙しました。この長篠の戦いのきっかけになったのが長篠城の攻防戦です。

当時の城主は、のちに中津藩主となる奥平氏です。武田を離れ徳川についた奥平貞能と信昌父子、磔^{はりつけ}になりながらも援軍は来ると叫んだ鳥居強右衛門、士気をあげ城を守り通し勝利に貢献した家臣たち。いくつもの戦国ドラマがありました。

その系譜を継ぐ中津藩では、この戦いを開運戦と呼び、自分たちの先祖の功績を称えました。本展では旧藩士家伝来資料に残された「長篠の記憶」をご紹介します。

展覧会情報

会 期：令和5年4月29日(土)

～6月25日(日)

会 場：中津市歴史博物館

開館時間：午前9時～午後5時

(入館は午後4時30分まで)

休 館 日：月曜日(祝日の場合はその翌日)

観 覧 料：一般300円、

団体100円(20人以上)

中学生以下無料



①



②

主な展示品

①鳥居強右衛門磔之図(当館寄託・個人蔵)

②奥平家士家譜(当館寄託・個人蔵)

③御家中系図(当館蔵)

④鎗「兼景」(当館寄託・個人蔵)



③



④